



昭和2年7月7日創立

世田谷区立東大原小学校

同窓会報

平成28年度 第1号
(平成28年7月発行)

発行所
世田谷区大原1-4-6
東大原小学校同窓会

発行人
野地勝彰

さようなら東大原

同窓会長 野地勝彰(二四回生)

最後の卒業生が巣立って行き、三月末で東大原の名前が学校から消えました。三月二十六日には閉校式があり、校旗が校長から世田谷区長に返還され、一九四一年に東大原と名前が変わってから七五年の歴史が閉じられました。同日午後には体育館での最後の同窓会総会が新入会員始め一七六名の出席を得て開催されました。ご協力有難うございました。

それとは別に、四月一〇日には「さようなら東大原の会」があり、八八八名の卒業生が来校され、また校舎内で一六組のクラス会が開かれ、それぞれ往年の思い出を語り合いました。既に校舎の解体はかなり進んでいます。

そして四月九日には旧守山小学校を仮校舎として統合後の下北沢小学校の開校式がありました。下北沢小学校は新設校ではありません。開校式で池上校長もお話しされましたが両校の伝統を背景に持つ学校です。そして両校とも元を質せば「第三荏原尋常小学校」を母体とする学校です。設立は一九二七年、守山や東大原と名前を変えながら今年で八九年の歴史ある学校です。私達同窓生にとって、名前が変わるうとも、校舎が新しくなるうとも、下北沢小学校は母校なのです。

三月発行の会報で説明しましたが、これからの同窓会については、こうした考えに基づいて来年四月、下北沢小学校の第一期卒業生が出るのに合わせて、下北沢小学校同窓会の設立



に手をかして我が同窓会も吸収されて行こう、それまでの今年度一年間は、今まで通り、東大原小学校同窓会のみで活動しよう、との提案を三月の総会議案として賛成可決されました。

そして下北沢小学校に対しては従来通りの協力をし行こうということも昨年の総会で決められました。今年度は人的な協力が主体となりますが何よりも学校との信頼関係の確立に意を注ぐ一年となりそうです。東大原の名がつく最後の同窓会、最後の年、会員の皆様の従来にも増してのご協力をお願いする次第です。

**ありがとうございました。片山校長先生
よろしくおねがいします。池上校長先生**

同窓会副会長 臼井良雄(二七回生)

お世話になりました旧東大原小学校の片山裕二校長先生は四月の移動で、世田谷区立玉川小学校へ転任されました。五月二日、関係者でささやかな送別会を開きました。五月二日、関係者でささやかな送別会を開きました。東大原小学校の二年間の素晴らしい子供たちと地域の方々との思い出はこれからも大事に生かしていきたい思い出と言っていたいただきました。学校統合の話が出て二年間、思い返せば激動の二年でしたが、児童、先生方、PTA、地域の方々を上手に纏めて信頼を受けた立派な校長先生でした。まだお若いのです。今後の一層のご活躍をお祈りします。

五月九日、同窓会役員四名で下北沢小学校の池上京子新校長先生を訪問しました。青鹿副校長先生も同席なされ、同窓会の学校に対する思い、今後の学校との接し方について率直な話し合いを持ちました。池上校長先生は区や地域との関係を大事にしながら、児童のことを第一に考える信念を述べられ、感銘を受けました。私たち同窓会が母校を思いそれを支援して行こうと考えて、今後とも下北沢小学校を母校と考えて行きたいというお願いには、快く賛意を示していただけました。これから宜しくお願いいたします。